

平成 25 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1 集落協定の概要

都道県名：愛媛県

市町村名：松山市

協定締結集落名：安居島集落

交付金額：2, 584 千円

協定参加世帯数：19 人（うち漁業世帯 19 人）

2 協定締結の経緯

安居島集落は、良好な漁場を有し、一本釣り漁業、刺し網漁業が行われており、漁業は島の基幹産業となっている。しかし近年は、漁業者の減少や高齢化が特に進行している。

また、魚価の低迷に加え燃料費の高騰により、厳しい状況におかれている。こうしたことから、沿岸漁業資源の維持・増大、漁場環境の保全、ヒジキの共同採取・加工の取組むことにより漁業集落の活性化、所得の向上を目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・キジハタの資源増大を図るため、種苗放流を行った。（1,250 尾）
- ・景観や自然環境を保全するため、集落周辺の海岸清掃を実施した。（年間 1 回）
- ・密漁や違反操業又は違反漁具の使用等から地先資源の保護及び漁具の保全を図るため、漁場監視及び夜間監視を行った。（年間 30 回）

②集落の創意工夫を活かした取組状況

- ・所得の向上と集落の活性化を図るため、集落でヒジキの共同採取・加工に取り組み、試作加工品を介護施設や、飲食店に試供品として提供しアンケート調査を実施した。

4 取組の成果

- ・海岸清掃を実施することにより、自然環境の保全が図られた。
- ・漁場監視を実施することにより、地先資源の保護が図られ、違反操業の減少が期待される。
- ・試供品として提供したヒジキ加工品について、アンケートを実施した結果、好評だったことから今後の販路に係る取組の参考になった。

種苗放流



漁場監視



ヒジキの共同採取



ヒジキの簡易加工

